

平成31年3月6日
気象庁地球環境・海洋部

配信資料に関する技術情報 第509号

～2週間気温予報資料の提供開始及び異常天候早期警戒情報資料の提供終了等について

～

(配信資料に関する技術情報第274号、第495号及び第499号関連)

気象庁では、農業・電力をはじめとする産業界等の多様なニーズを踏まえ、幅広い分野における気候リスクの軽減と生産性向上に貢献するため、異常天候早期警戒情報に替えて、平成31年6月より2週間気温予報及び早期天候情報の運用開始を計画しています。これらに関連する配信資料のうち、FAX図形式である2週間気温予報資料の提供開始及び異常天候早期警戒情報資料の提供終了等について、下記のとおりお知らせします。

記

1. 2週間気温予報資料の提供開始

以下の4種類の資料にて構成される2週間気温予報資料について、平成31年5月頃より試験提供を、平成31年6月頃より正式提供を開始します。具体的な試験提供開始日及び正式提供開始日については、決まり次第お知らせします。各資料の詳細な仕様は、別添の解説資料のとおりです。

- ・ 2週間気温予報資料(1) 実況解析図(一部予想図)
- ・ 2週間気温予報資料(2) 北半球予想図・高偏差確率
- ・ 2週間気温予報資料(3) 熱帯・中緯度予想図
- ・ 2週間気温予報資料(4) 各種時系列

2. 異常天候早期警戒情報資料の提供終了

以下の3種類の資料にて構成される異常天候早期警戒情報資料については、平成31年6月頃に提供を終了します。具体的な提供終了日については、決まり次第お知らせします。

- ・ 早期警戒情報資料(1) 実況解析図
- ・ 早期警戒情報資料(2) アンサンブル平均・スプレッド・高偏差確率
- ・ 早期警戒情報資料(3) 各種時系列

3. その他

2週間気温予報資料のサンプルデータ(電子ファイル)を、(一財)気象業務支援センターを通じて提供します。

4. 別添資料一覧

解説資料	2週間気温予報資料の解説
別紙1～4	2週間気温予報資料サンプル

3. その他

2週間気温予報資料のサンプルデータ(電子ファイル)を、(一財)気象業務支援センターを通じて提供します。

4. 別添資料一覧

解説資料	2週間気温予報資料の解説
別紙1～4	2週間気温予報資料サンプル

2週間気温予報資料の解説

(1) 各資料の名称及び内容

2週間気温予報資料は、4種類の資料で構成します。各資料の名称及び内容は以下のとおりです。

資料名称	内容
2週間気温予報資料(1) 実況解析図(一部予想図)	<ul style="list-style-type: none"> 500hPa 高度、850hPa 気温、海面更正気圧及びそれぞれの平年差 200hPa 流線関数、850hPa 流線関数及びそれぞれの平年差 200hPa 速度ポテンシャル及びその平年差並びに海面水温平年差解析図(破線領域は 200hPa・850hPa 流線関数図の表示範囲) 赤道域における 200hPa 速度ポテンシャル平年差(時間-経度断面図)(解析値及びアンサンブル平均値)
2週間気温予報資料(2) 北半球予想図・高偏差確率	<ul style="list-style-type: none"> 500hPa 高度及びその平年差 850hPa 気温、海面更正気圧及びそれぞれの平年差 500hPa 高度の高偏差確率及び平年値期間の標準偏差
2週間気温予報資料(3) 熱帯・中緯度予想図	<ul style="list-style-type: none"> 200hPa 流線関数及びその平年差 850hPa 流線関数及びその平年差 降水量平年差 200hPa 速度ポテンシャル及びその平年差(破線領域は上記の3種類の図の表示範囲)
2週間気温予報資料(4) 各種時系列	<ul style="list-style-type: none"> 北日本、東日本、西日本及び沖縄・奄美における 850hPa 気温平年差(解析値並びに各メンバーの予測値及びアンサンブル平均値) 東西指数(極東域)、沖縄高度、東方海上高度及びオホーツク海高気圧指数(解析値並びに各メンバーの予測値及びアンサンブル平均値) 北半球極渦指数及びユーラシアパターン指数(解析値並びに各メンバーの予測値及びアンサンブル平均値) 北半球及び日本域におけるスプレッドの予測

(2) 新規に掲載する指数

「2週間気温予報資料(4)各種時系列」に掲載する指数のうち、現行の異常天候早期警戒情報資料に掲載しておらず、今回新たに掲載する指数とその性質は、以下のとおりです。「平成30年度季節予報研修テキスト」¹で詳しく解説しますので、合わせて御参照ください。

- ・ 北半球極渦指数
北極域の高度場を表す指数で、北極振動の変動と高い相関があります。指数が正(負)のとき、北極域の高度・気温が平年より高(低)くなり、極域の寒気が放出(蓄積)されることで、中緯度域の高度・気温が平年より低く(高く)なる傾向であることを示します。
- ・ ユーラシアパターン指数
冬季にしばしば見られる、ヨーロッパからシベリア、日本付近にかけての寒帯前線ジェット気流の蛇行と関連した指数です。指数が正(負)のとき、日本付近で高度が低(高)くなりやすく、日本付近への寒気の流れ込みが強(弱)まり、冬型の気圧配置が強(弱)まる傾向を示します。

(3) 各資料のファイル名・形式・容量

資料名称	ファイル名・形式・容量
2週間気温予報資料(1) 実況解析図(一部予想図)	・ ファイル名 Z_C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_JCIfcvx21_JCP2048x2803_image.png ・ 形式: PNG 画像ファイル ・ 容量: 約200KB
2週間気温予報資料(2) 北半球予想図・高偏差確率	・ ファイル名 Z_C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_JCIfcvx22_JCP2048x2803_image.png ・ 形式: PNG 画像ファイル ・ 容量: 約300KB
2週間気温予報資料(3) 熱帯・中緯度予想図	・ ファイル名 Z_C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_JCIfcvx23_JCP2048x2803_image.png ・ 形式: PNG 画像ファイル ・ 容量: 約250KB
2週間気温予報資料(4) 各種時系列	・ ファイル名 Z_C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_JCIfcvx24_JCP2048x2803_image.png ・ 形式: PNG 画像ファイル ・ 容量: 約50KB

¹ 平成31年3月末までに以下のURLに掲載予定です。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/kisetutext/kisetutext.html>

(4) 配信時刻

午前7時頃（1日1回）

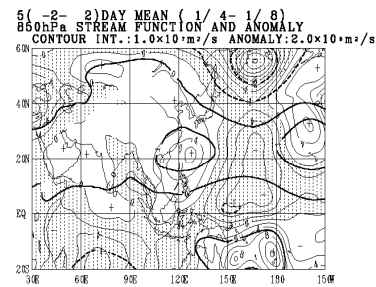
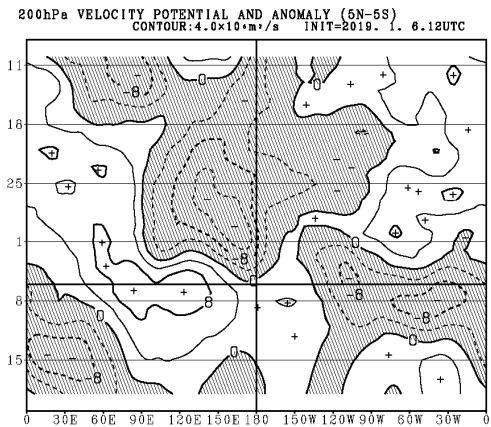
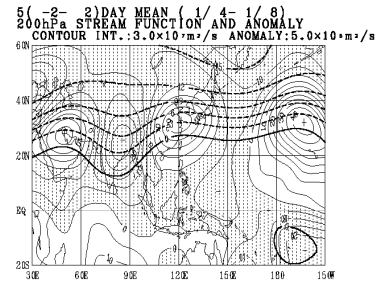
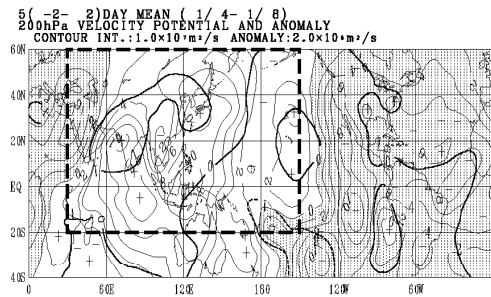
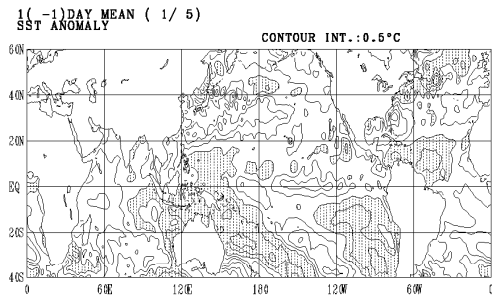
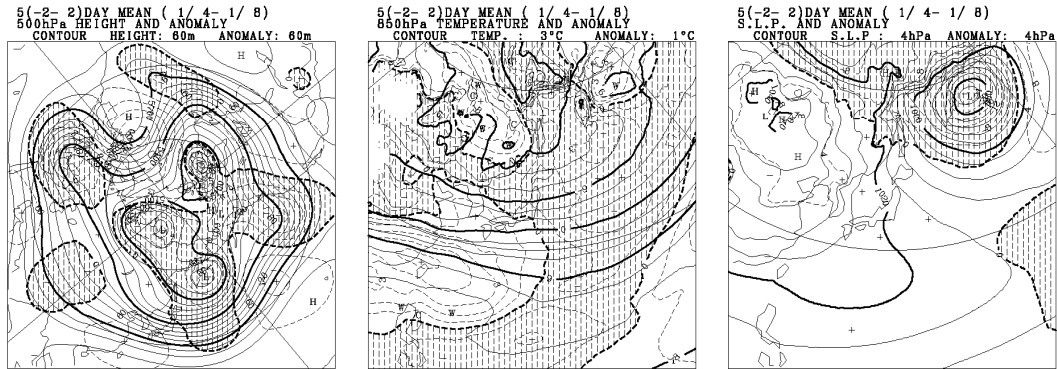
(5) 障害時の対応

システム障害等により配信出来なかった場合、配信当日に再送が可能であれば、再送します。翌日以降には再送しませんので、あらかじめご承知おきください。

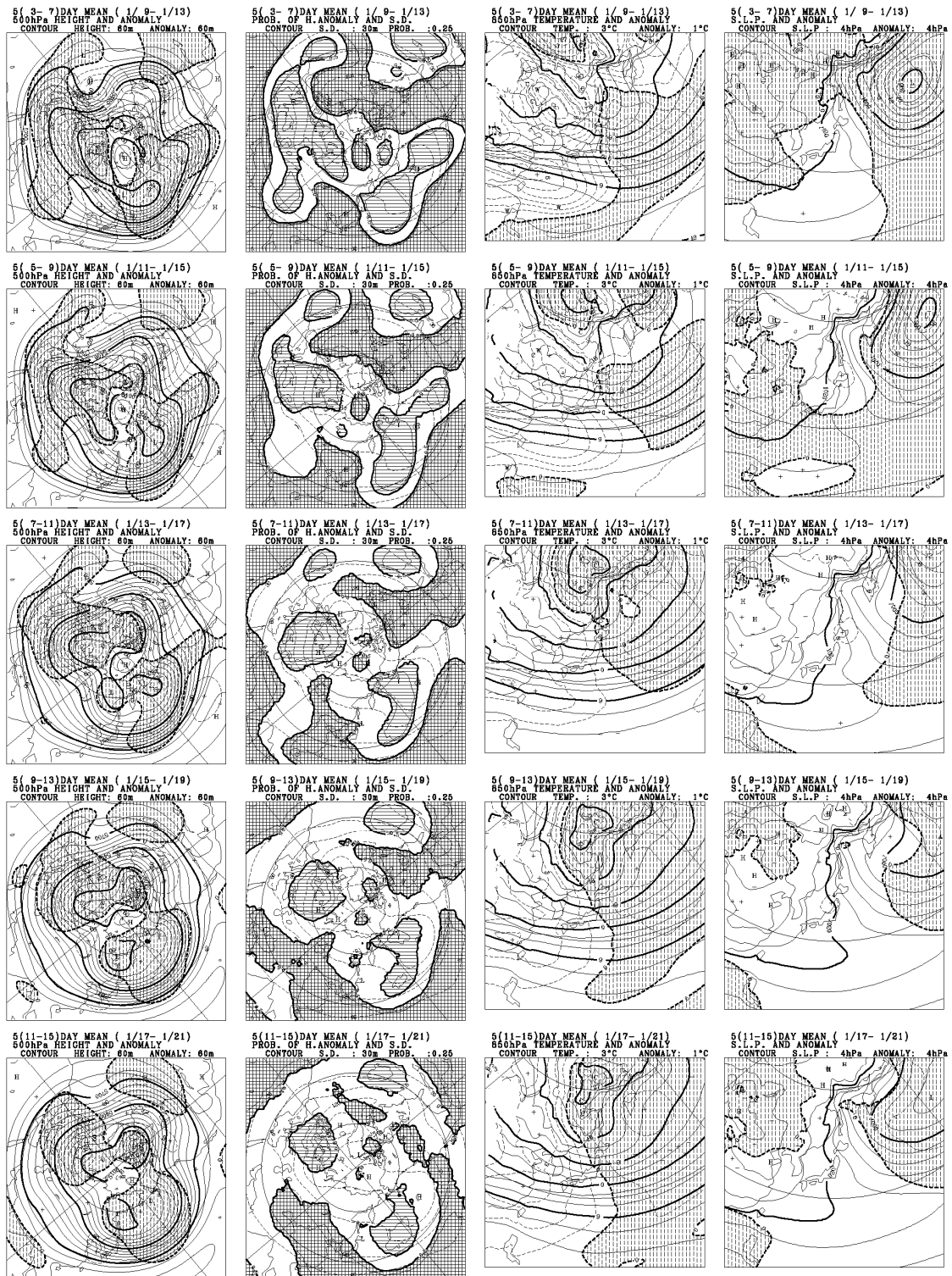
(6) サンプル

2019年1月6日12UTC初期値のサンプルFAX図は、別紙1～4の通りです。

2週間気温予報資料(1) 実況解析図(一部予想図) 初期値: 2019. 1. 6.12 UTC

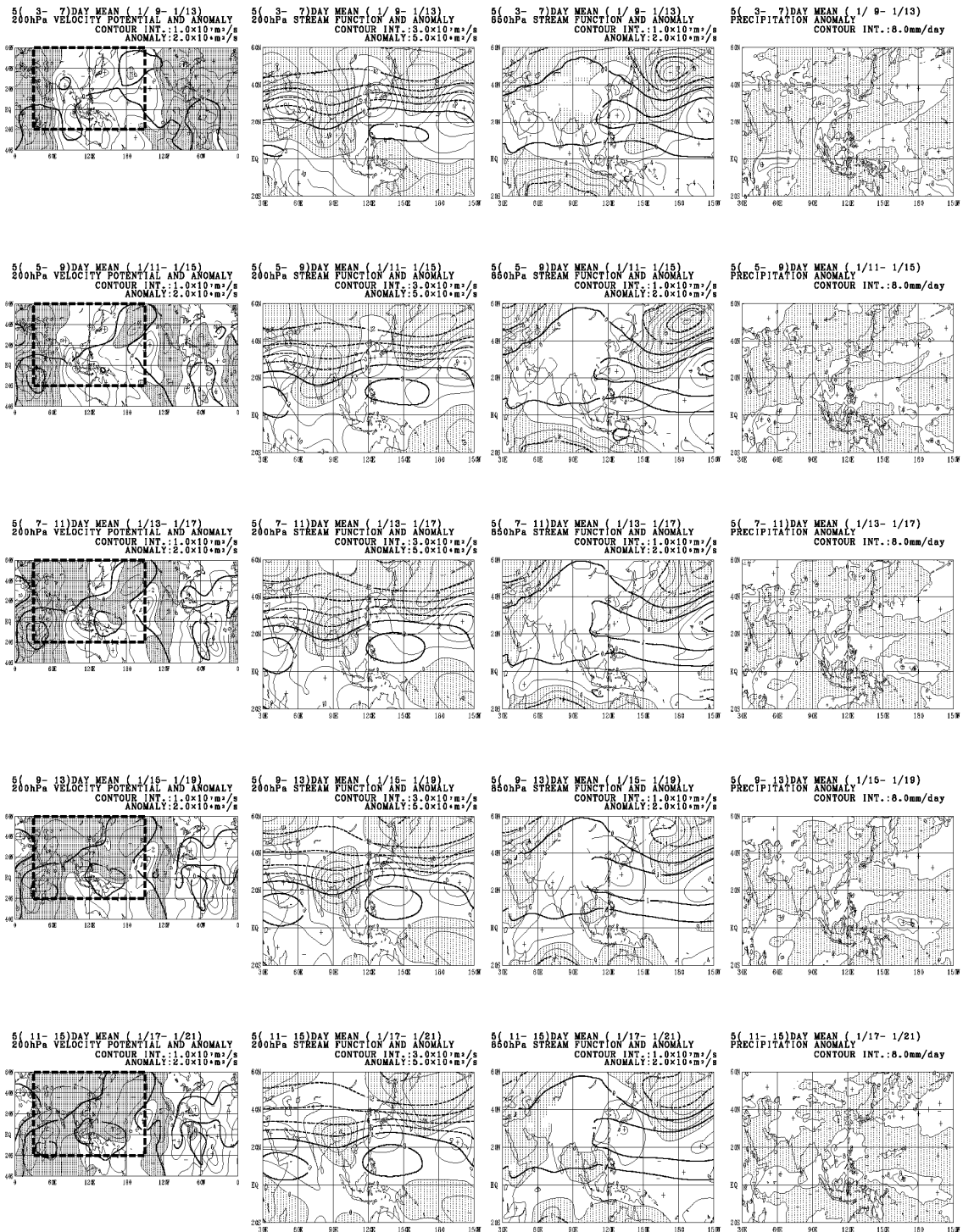


2週間気温予報資料(2) 北半球予想図・高偏差確率 初期値: 2019. 1. 6.12 UTC



2週間気温予報資料(3) 熱帯・中緯度予想図

初期値: 2019. 1. 6.12 UTC



2週間気温予報資料(4) 各種時系列

初期値: 2019. 1. 6.12 UTC

